

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

第19回(2024年度)通常総会

仲宗根幸子理事長 開会の挨拶

本日は第19回(2024年度)通常総会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。おかげさまで私たち日本ネイリスト協会は今年で39年目、来年には節目となる40周年を迎えることになりました。創立以来、良い時もあり大変な時もあり、さまざまな時代を過ごしてきましたが、コロナ禍のような時にも、会員の皆様にしっかりと支えていただき、来年40周年を迎えることができます。これも会員の皆様からの多大なるご支援があったからこそ、心より感謝しております。

私はとても心配性で、あのコロナ禍の中で会員の方々が離れていくのではないかと考えたことがありました。ところが企業さんや学校法人さんの会員入会の申請が増え、このような時に会員になっていただけることに感謝の気持ちでいっぱいでした。会員の皆様とともにコロナ禍を乗り越えて4年目になりますが、どんなことでもみなさんと一緒に頑張れば乗り越えることができるということを、改めて思いました。

39年前の協会創設にあたって発起人の方たちが「ネイリスト」という言葉を作り、それが私たちの職業名となりました。協会はこの職業を認めてもらうために大変な努力を重ね、会員の皆様にもご協力いただき、今「ネイリスト」は、社会的に確立された職業として認められています。協会ができて39歳というと働き盛りと言えますが、ある程度安定はして来たものの、これからは私たちが何を残すことができるかが大切だと思っています。私は、この中でも一番高齢にあたると思いますので、そのようなことを考えるようになりました。

本日の通常総会では「ネイル未来プロジェクト」の発表があります。39年前に「あの人たちは何をする人？爪を長く伸ばして？」と言われながら、そこから少しずつ認めてもらった今、これからは、将来これを仕事とする人たちに何を残せるか、明日や明後日のことではなく10年後に何を残せるか、100年後に何を残していけるか、そういうことを考えなければいけないと思っています。

10年くらい前に「もうネイルなんて無くなる、無くてもいい仕事」とテレビで言われたことがありました。しかし、どうでしょうか。あれから10年、コロナにも負けることはありませんでした。これは皆様の団結力の賜物です。ひとつとなった大きな力で乗り越えて来ました。これからはこの仕事に就く人たちが、本当にネイリストという職業に胸を張っていけるようにしていきたいと思います。そして日本ネイリスト協会の会員になって良かったと思っただけのような協会であり続けたいと思います。

これからの通常総会では、12委員会の委員長から、それぞれの活動報告や未来に向かって何をしていくかという発表がございます。それぞれがここで発表するのは、皆様とどういうお約束をしたか、その結果を果たせたか、そしてまた今年度どういうお約束をするのか、ここはそういうお約束をする場だと思っています。

私の両サイドには理事が勢ぞろいしていますが、理事たちはご自身のお仕事以上に協会のこと、会員の皆様のことを考え、支えようとしてくださっています。私はこのような協会を誇らしく思っております。どうぞ最後まで発表を聞いていただき、私たちはここで皆様に、これからの協会の健全な活動についてお約束したいと思います。

本日は誠にありがとうございます。